

令和3年度関東学生体操競技交流大会・関東学生新人体操競技選手権大会  
監督会議および連絡事項

男子審判長 高橋義憲

1 適用規則

- ① 2017年度版採点規則，男子体操競技情報29号および追加情報1まで  
※29号に記載抜粋  
跳馬のアップ本数は2本まで
- ② 種目別選手権 跳馬は1超越
- ③ 競技前直前アップ
  - ・1人30秒
  - ・平行棒は1人50秒。チームは5分とする
- ④ 特別ルール 鉄棒は補助者を2名つけることができる（減点なし）

2 採点基準

ルール通りの採点を行いますが，大会の趣旨とすべてのレベルを十分に考慮し得点決定は慎重に行うものとする。

3 演技開始・落下での計測について

演技開始の計測はD1審判が旗を揚げると同時に計測します。落下時の計測（30秒）は綿密に計測いたします。時間を超過しないようご注意ください。落下時での計測は選手が立ち上がった時点からの開始となりますが，座っていても選手の安全が確認できましたら計測を始めることとします。

4 プロテクターの破損について

つり輪，鉄棒でのプロテクターが破損した場合，D1審判にプロテクターを見せてください。承認されましたら，その組の最終演技者の後に演技を復行することを認めます。

5 ケガ等への対応

競技中に落下等の原因によりケガや出血，脳震盪などが発生した場合，選手の安全を最優先にし，ドクターの判断を仰ぎます。続行が可能な場合は，落下の計測（1分）を超えていても演技の継続を認めることとします（ND0,3は有り）。ただし，身体状況に不安がある場合は，演技の中止を促すこともありますのでご承知おきください。

## 6 問い合わせについて

- ・D スコアが想定されたスコアと違う場合、監督による D1 への問い合わせが認められます。
- ・問い合わせをする場合、受付対応は当該種目の中で、その組の最終演技者の場合、次の種目のアップの時間内を目安とします。それを過ぎての問い合わせは受付できません。
- ・D1 との見解に相違がある場合、審判長までの問い合わせが認められています。その場合、D1 審判への問い合わせ後から4分以内を目安にお願いします。  
→D1 審判は問い合わせがあった時点で時間を記録します。  
※チーム関係者の方が撮影された映像は判定の材料にはしません。

## 7 アリーナ外へ出る

競技中にトイレ等の理由でアリーナから出る場合の審判長への申告は不要とします。

## 8 種目ごとの整列位置について

- ・競技直前の練習後は、第1演技者、第2演技者およびコーチ以外は選手席に戻る
- ・第3演技者以降の選手の器具への移動は、前々演技者の演技終了後とする。
- ・競技中、器具付近に滞在できるのは上記3名（鉄棒・段違い平行棒は4名）のみとする。
- ・競技進行

競技の進行はアナウンスの指示に従ってください

競技前の選手入場は行いません。

選手は班別本会場練習終了後、直ちに選手席エリアに移動し、整列してください。

各種目開始前の挨拶は、選手席から各種目の D1 審判の前に距離をとって整列してください。

各種目終了後の挨拶は行いません。

## 9 その他

感染拡大を防止するためにも競技中の演技以外でのマスク着用、声を出しての応援は控えてください。

マナー、モラルに著しく反する場合は注意を促します。それでも改善されない場合、規則に則り対処します。

その他、競技に関することは採点規則、競技規則に則り対応します。